



第18回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会  
関東地方会学術集会

## 共催セミナー 座長 ガイドライン

### はじめに

この度の会議はリアル会場とバーチャル会場を使ったハイブリット開催となります。セッションは Zoom ウェビナーを使ったリアルタイムでの発表となります。

但し、リアル会場へ聴衆は入れず、演者と座長の先生方だけの参加可能となっております。演者と座長の先生は、リアル会場かバーチャル会場での参加を選ぶことができます。

### リアル会場

御茶ノ水ソラシティカンファレンス カンファレンスセンター RoomA、B、C  
(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地)

### バーチャル会場

バーチャルロビー～オンライン専用 WEB サイトトップ画面～Zoom によるセッション会場

### 事前確認事項

#### 著作権

演者の先生には以下のようにご案内しておりますので、ご参考までに情報共有させていただきます。  
オンラインによる発表は著作権法上の「公共への配信」となります。発表資料の著作権は、演者に帰属します。発表内容が第三者の権利や利益の侵害問題を生じさせた場合、演者が一切の責任を負うこととなります。発表資料内において、他者が著作権を有する音楽・映像・動画を未承諾でご利用なりませんよう、ご注意ください。

#### リモート参加における通信環境

インターネット接続は、**光通信の有線 LAN** のご利用を**推奨**いたします。通信が安定しない場合、映像や音声に影響がありますので、予めご理解ください。目安として、発表で使う予定の端末が YouTube など WEB 上の動画をスムーズに視聴できるかご確認ください。

以下のサイトで接続しているインターネット接続通信速度を確認できます。

<https://fast.com/ja/>

#### リモート参加における端末

Zoom は Windows、Macintosh、Android、iOS でご利用になれます。端末にはウェブカメラとマイクが必要です。発表時はマイク付きヘッドホン(イヤホン)をご利用になることを**推奨**いたします。内臓マイクを使うと周囲の音声も拾ってしまい、視聴者(参加者)が余計な雑音などで発言が聞き取れなくなる可能性があります。また、ヘッドホンなしでスピーカーから音を出すと、セッションルーム中にハウリングを発生させる原因となります。

すので、ヘッドフォンをご利用いただけますようご理解ください。

PC はブラウザでも Zoom が利用可能ですが、Zoom アプリをご利用の場合は最新バージョンであることをご確認ください。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362393>

<https://support.zoom.us/hc/en-us/sections/360008531132>

※Android, iOS の場合はアプリをインストールする必要があります。

安定した通信を保つためには特に「[インターネット接続環境](#)」「[お使いになる PC の CPU](#)」が左右します。推奨する端末スペックはこちらをご確認ください。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>

## 録音・録画による記録

記録については、以下の通り規程しておりますので、セッション開始前にご注意事項としてアナウンスに含めていただければ幸いです。

演者の許可なく一般参加者の録音録画や発表スライドの画面キャプチャもご遠慮いただくようご案内いたします。

## 開催前

### セミナー時間

ランチョンセミナー 60 分(発表時間は事務局からの指定はありません)

アフタヌーンセミナー 40 分(発表時間は事務局からの指定はありません)

ものづくりセミナー 1 時間 40 分(発表時間 17 分 質疑応答 3 分)

### 参加スタイル

共催セミナーのご発表形式は以下の3つ方法とさせていただきます。座長の先生もリアル会場へのご来場かリモートでの参加か選択いただけます。

- (1) 会場で参加する
- (2) リモートで座長業務を行う

### 通信テスト

Zoom ウェブサイト上でテストログインが可能です。

開催日前日 4 日にテストログイン時間を設ける予定ですが、その前の動作チェックなどでお使いください。

<https://zoom.us/test>

### バーチャル会場サイト公開

バーチャル会場は公開中です。

入口 URL、ID とパスワードを案内しますので、メールをご確認ください。

### テストログイン

9月4日(金)夕方～夜にかけて、テストログインの時間を設定します。詳細が決まりましたらご案内します。

### リアル会場へご来場される場合

各会場前に設置している受付へ、**ご担当セッション20分前**までにお越しください。  
受付ではチェックインを行います。

座長席には事務局で Windows PC(有線 LAN 接続)をご用意します。その PC の Zoom を通じて座長を行っていただきます。現地ではステージを設置、中継を配信するのではなく、演者座長ともに Zoom を通じてセッションを進行するスタイルです。しかし、演者、座長ともに通常開催のような位置関係で行いますので、オンライン上のやり取りよりは臨場感が出ると考えております。

座長の先生は、ご自分の発表前後にリアル会場に用意した休憩室でのオンライン視聴いただくことが可能です。その場合は各自の端末とイヤホンをお使いいただきます。(会場の wifi で接続可能です)

### リモート参加する場合

前述の事前確認事項「通信環境」「端末」を再度確認の上、ご準備ください。

**ご担当セッション開始15分前**までに会場へ「入室」してください。

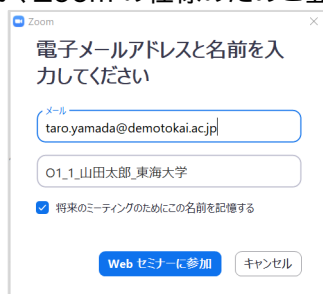
### ログイン

バーチャル会場へは、以下のログインからお入りいただけます。付与された ID とパスワードでログインください。



<http://jsnet18kanto.online>

更にオンラインセッション会場(Zoom ウェビナー)に入室する際に、お名前登録が必要となります。ご面倒をお掛けしますが、Zoom の仕様のためご登録をお願いします。



メールアドレスと名前(演題番号\_お名前\_ご所属)を入力して「入室」してください。

例)LS1-1\_東海太郎\_東海大学

例)「ものづくりセミナー」は「ものづくり\_東海太郎」と「メディカルチームのための血管解剖」は「メディカル\_東海太郎」としてください。

入室後は「視聴者」としての入室ですが、入室を確認後スタッフが「パネリスト」へ変更させていただきます。

※ご自身の発表15分前ではなく、セッション開始15分前となりますので、ご注意ください。

「入室」されましたら、オンラインセッション会場スタッフが先生のチェックインを確認します。

#### 【動作環境安定のためのお願い】

- お使いの端末は電源に接続し、バッテリー駆動は避けてください。
- 入室前に Zoom と Powerpoint 以外のアプリは閉じてください。
- 「バーチャル背景」のご利用はなるべく避けてください。

- 「発表者ツール」「Keynote」のご利用は避けてください。  
(ご自身が見ている画面がそのまま皆さんに共有されます)
- ご自身の発表時間帯に通信環境が不安定にならないか事前にご確認ください。  
(時間帯によって、周囲のインターネット利用が多く通信速度が遅い場合があります)

#### 【当日のトラブルなど】

「入室できない」などトラブルが発生した場合は、以下へご連絡をお願いします。

①電話	070-5287-4523 (オンライン運営事務局スタッフ)
②LINE オープンチャット (いつもお使いの ID を使わずにこの時だけのやり取りが可能です)	

## 演者の入室確認・打合せ

リアル会場スタッフが入室確認し、座長の先生にご報告します。

リアル会場の場合は直接口頭でご報告し、リモート参加の場合はチャットにてご報告します。

演者との打合せをご希望の場合は Zoom のチャットで送信先を指定してご利用になると、視聴者に内容を聞かずにやり取りが可能です。画面上でのやり取りも可能ですが、視聴者にも見える状態となります。

## セッション開始

MC 担当スタッフの前振りを行いますので、その後の進行はお任せいたします。その際に MC からは記録禁止についてアナウンスさせていただきます。質疑のやり方は別添の進行台本の通りご案内ください。

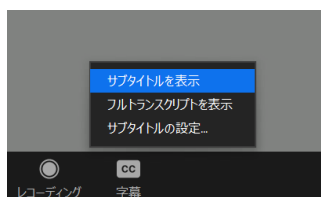
## 計時

リアル会場スタッフが画面上に**字幕**でお知らせすることが出来ます。

ご利用については、座長の先生にお任せしますが、字幕機能を利用する場合は、演者、座長の先生ともに**字幕**を「サブタイトル表示」を押下して設定していただく必要があります。演者の先生へはスタッフからチャットで操作のお願いします。

字幕は画面下部にポップアップされます。お知らせするタイミングはスタッフへご指示ください。

※このポップアップで「サブタイトルを非表示」となっている状態が「表示」状態です。「サブタイトル表示」となっている場合は「非表示」状態です。



## 質疑応答

ウェビナーの Q&A 機能を使って質疑応答を行います。Q&A に質問が来ると、**Q&A** を開き、以下のように確認できます。



視聴者が Q&A を使うと…



左図のように質問を確認できます。  
演者が口頭で回答する場合は「ライブで回答」を押下してください。演者も同じように確認できますが、念の為質問内容を読み上げていただくと進行がスムーズになると思われます。

「ライブで回答」を選ぶと、左図になりますので「完了」を押下して対応済みとしてください。

「対応済み」へ移動されます。

## チャットの利用について

チャットは質疑応答用には利用しませんが、講演中に視聴者がコメントやつぶやきを書き入れる場合がありますので、お好みで返答いただいても構いません。